

松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 407号 2020年(令和2年)7月号

一年で最も凌ぎやすいとされる春から初夏にかけ、2ヶ月余にわたり“巣ごもり”の生活に耐えてきました。非常事態宣言が解除になったとは云え、私達個々の暮らし方は“新しい生活様式で”ということで、これまでの生活様式を踏襲することに他なりません。不要不急の外出の自粛、3密の回避、マスク着用、手洗いなどの基本は変わりません。高温多湿のこの時期は熱中症の対策も必要になりますので、健康面でいろいろ気配りが大変です。この冬に向かったのコロナウイルスの2次感染流行を危惧して、国はこのように日常生活面での自粛を要請しているので私達もこれまで通りの生活様式を継続することになります。その期限はこのウイルスに特効のワクチンや治療薬が開発され、常用できるまでとも言われていますので、もう少し耐えなければなりません。我が国のコロナ感染者数や死者の数が少ないのは欧米と異なり、衛生意識、生活習慣、マナーなどによるところ大ということのようです。社会、経済の再開で業種にもよりますが、スポーツ施設や娯楽施設等も逐次オープンされてきます。これまでの生活スタイルを堅持しながら時々気分転換も図って、長期戦に備えましょう。いくらかでも早い時期に以前の安心できる通常の生活に戻りたいものです。

6月14日に開催された自治会の役員会で検討された結果、7月1日から自治会館の利用が可能になりましたが、コロナ禍が未だに終息していない現状では7月度定例会の開催は時期尚早ではないかと考えており、開催中止といたします。開催の場合は改めてご案内させていただきます。いづれにしても、定例会やお楽しみ会も“3密”に該当します。高齢者の私達は再開時期やその方法について慎重に決める必要があると考えています。

自治会館利用にあたり幾つかの条件を守する必要があります。

- ①利用者は来館前に検温し、名前と連絡先を記入する。(記載した用紙は1か月保管)
- ②利用者は必ずマスクを着用する。
- ③館内での飲食は禁止し、大きな声での会話・発声を伴う活動は自粛する。
- ④次のグループのために10分以上換気し、テーブルや椅子・トイレ等の消毒をする。
- ⑤3密を避けるため、人数は少ない方が望ましい

1. 6月お誕生の方々

勝亦久子さん、立花京子さん、千田雄輔さん、早島富美子さんです。おめでとうございます。

お祝い品は各班長さんがご自宅にお届けの予定ですので、お受け取りください。

2. 茅老連からの連絡事項は現在のところ、ありません。

3. 7月お誕生の方々

花水清子さん、脇山邦子さん、中井明子さん、竹内縫子さん の皆さんです。おめでとうございます。

4. 7月度「お楽しみ会」の開催は引き続き中止といたします。再開する場合は別途お知らせします。

5. 夢くらぶ松風会をご存知ですか？

松風会は地域を基盤とした高齢者の自主的組織です。加入年齢は原則60歳以上ですが、「老人ではない！」方が多いのか、参加率は低いのが実情です。自らの生きがいを高め健康づくりやボランティア活動、高齢者の

ネットワークづくりに寄与しています。松風会の主な活動は、月1回(第二土曜日)の定例会や週2回(月・金)のお楽しみ会(麻雀・卓球・囲碁など)を自治会館の集会所で開催しています。その他、茅ヶ崎市老連の春秋の一泊旅行や日帰りバス旅行、走らない運動会、老人クラブ大会等に参加して楽しんでます。是非一度見学にきてください。

寄稿文

断捨離を实践

那須嗣夫

皆様如何お過ごしでしょうか。毎日何処へも出かけず、家でボーっとして暮らしているのみの私ですが、今は唯耐えることが肝要と思ひコロナに打ち勝つ日が遠からんことを願うのみです。

我々が此れまで経験したことが無い事態に対し、毎日専門家と称する方々があれやこれやとコメントしておられますが、何処までが本当のことやらさっぱり判らないというのが実情ではないでしょうか。

それにしても、この機に乗じてあぶく銭を稼いでやろうとする極悪人があまた存在し、実に腹立たしいことですが、日々新しい手口で我々を狙っているのも連日マスコミで報道されているとおりで。どんな手口で迫ってこようとも、振込詐欺には絶対引掛からない様、お互いに充分用心しましょう。

先日旧友と、たまたま、メールのやり取りをする機会があり、その友人はこの機に『断捨離』を实践している由。私は、元来、物をあまり持たず、何でも処分している方ですが、それでも何やかやと溜まっているのも現実です。そこで、一念発起、私も『断捨離』を敢行することにし、早速取り掛かっています。何でも飽きっぽい私ですが、緊急事態宣言が解消される頃には身の回りがスッキリしていることを願って今日も、『断捨離』に励みます。

つれづれ随想

田中久夫

暇を生かそう

暇になるとつい余計なことを考えがちになる。暇と忙しいのとどちらが幸せなのか。現役で忙しく働いてきた人は、早く定年になって暇になりたいと思う。アメリカではハッピーリタイアといって、それこそ楽しい第二の人生が待っているとはやし立てる。ところが日本人は働き蜂だから、暇になるとどうしてよいかわからなくなる。コロナはその試練を私どもに与えているのであろう。こんな時こそ残った人生をどう生きるかを考えるべきだが、考えてもいい案が浮かばない。何と一日が長いことよ。昼寝だけが增えるばかりで、大いに反省。

世界遺産：日本文化遺産



京都：平等院の「鳳凰堂」



潔の匂の花“白百合”(真野さん提供)